

クリスマスの新常識！

ツリー・ハンティング

偽物ツリーより、捨てられる若木を利用しませんか？

HUNTING

概要

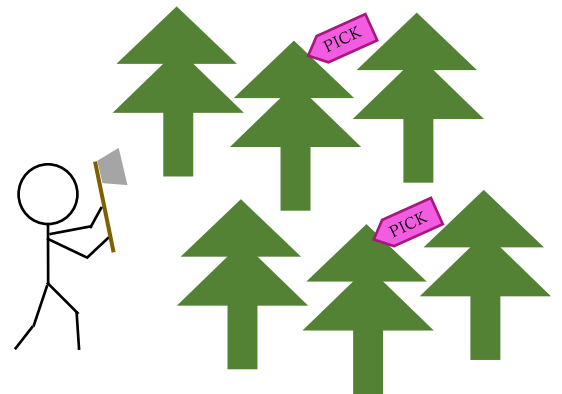
クリスマスツリーとしてスギやヒノキの若木を販売します。樹高およそ1～2mほどの針葉樹林に参加者を招待し、参加者は立木を選んで購入します。選ばれた木は切り倒して参加者がツリーとして持ち帰り、飾りつけを楽しみます。

着眼点

日本にはたくさんの天然木があるのに利用せず、外国産やプラスチックのツリーを使うなんてもったいない！樹種は違いますが、毎年飾るツリーは地元のものを使ってほしいと考えました。米国や欧州では農場で生木を選んで切り、ツリーとして持ち帰るツリーハンティングという文化があります。一方、林業の現場では、間伐で間引かれた若木は現場に残されたまま朽ちるのを待つだけ。少しでも人の目に触れる、利用してもらおう方が良いと考えました。



▶アメリカのツリー農場。国内では1年に3000万本ものツリーが出荷される



▶事前にある程度選木を行うことで適切な間伐になる仕組み



TARGET

山で本物の木を見て選んで、切り倒して飾り付ける、1つの大きな体験になります。こどもウケ必至です。それ以外にも、何かもうひとイベントほしいと思う人は少なくないはず。

また近年、環境問題に多くの関心が寄せられております。プラスチックを使わない、間伐ができて森林のためにもなるこのアイデアは多くの人々の関心を得られることを期待できます。

事業内容

① フィールドについて

植林をしている森林所有者の方に協力を依頼して、1回目の間伐作業を無償で請け負う形でフィールドの提供をしてもらいます。費用がかからず整備できるので所有者理解も得やすいのではないかと考えます。また、売り上げの一部はご協力いただいた所有者の方に還元します。

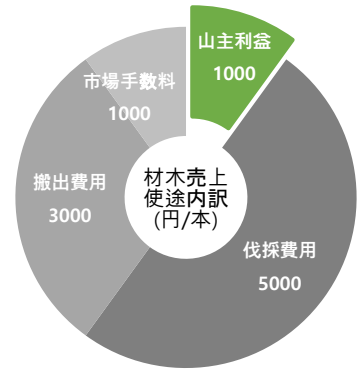
② 参加費用について

平均的なクリスマスツリーの価格である 10,000 円程度に設定します。40年育てたスギ丸太（直径 20cm、長さ 3m のスギ 2 本）と同程度の価格になることから本事業の経済的な有効性が認められると思います。

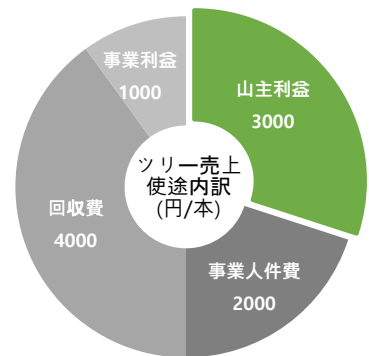
③ ツリーの回収について

使用後のツリーについて、一般家庭での廃棄は難しいと思われるため、遠方でない限り回収を行います。ツリーの売り上げの一部はこのために利用します。

40年生木材として搬出する場合



ツリーハンティングの場合

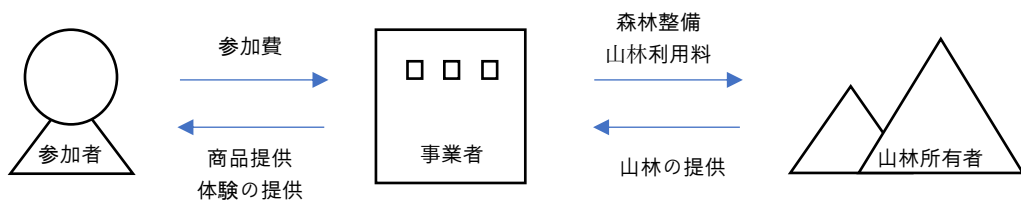


▶山主さんは無料で間伐できる上、伐採、搬出費用が不要な分利益が大きくなる。

事業の社会的意義

森林の適切な管理が進まない中、利益を得ながら間伐することができます。切り捨てられる若木の有効活用にもなります。1年に1度のために購入され、廃棄されるプラスチック製品は必要ありません！

また、山に来てもらう、触れてもらう機会をつくることは、森林に関心を持ってもらう一番の近道です。趣味で訪れたり、林業をやってみたいと思ったりするきっかけになるかもしれません。



事業を行うにあたっての課題

山林を利用するにあたって、事業の趣旨を理解し、協力してくれる所有者の方が必要になります。間伐が無料でできる、また収益が得られる内容であるため、協力を得やすいと思います。また、一般の方を山に案内することになりますので、安全管理の面などにも課題があると考えられます。